

「一人一人が幸せな学校」をめざす

合言葉：自分で 決めて やり抜く

春らしい日が続き、校庭の桜の花は、4月初めに満開となりました。

4月7日、新しい学年に進級した子供達、そして本校に入学した1年生の皆さん、本当におめでとうございます。コロナはまだ収束しませんが、昨年の中頃よりは、コロナへの対処方法を学び、どうにか学校が前に進んでいます。本年度は、67名の子供達とがんばってまいります。

どうぞよろしく願いいたします。

さて、本年度の本校のモットーは、「一人一人が幸せな学校」をめざす。合言葉：自分で 決めて やり抜く です。

昨年度この学校で1年を過ごした私は、この学校の子供達に、どれだけの幸せな気分を味わわせてもらったか分かりません。学年末の修了式では、「この学校は、天使のいる学校です。島で一番幸せな学校です。」と話しました。これは本心です。本当に心地よい1年でした。

だからこそ、今度は、どの子供にも幸せになってほしいと思いました。一人一人の子供に愛情をもって寄り添い、ともに泣いたり笑ったりしながら過ごす。教育に携わる者として、こんな素敵な子供達に、校長をはじめとした教職員全員で、本気で向き合い、一人一人の子供達の幸せの実現のためにがんばっていきたいと思っています。

けれども、本当の幸せは、向こうからやってくるものではありません。誰かが、「はい、あげる！！」と言って、ポイっとくれるものでもありません。自分の決めた目標に向かって、自分で決めた方法で、粘り強くやり抜いてつかみ取る。それこそが、本当に価値のある幸せだと思います。だから、「自分で 決めて やり抜く」。本当の幸せの実現のために。

子供達とともに、教職員一同頑張ってまいります。本年度もどうぞよろしく願いいたします。



明德小 校長 奥井 京子